

豊中市東丘公民分館

公民館だより

編集発行
東丘公民分館
広報委員会
発行部数 3,800



地域と学校の連携で 生涯教育の充実を

東丘小教頭

山脇 良雄

新年のごあいさつ

分館長 植木 克己

謹んで新春のお慶びを申し上げます。お健やかに初春をお迎えのことと存じます。昨年中は東丘公民分館活動には、格別の御参加、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年も何卒宣敷くお願い致します。

当分館も昭和四十四年十月一日に生まれて、十七年目になります。初代猪古洋一氏。二代梅沢二三男氏。三代猪古洋一氏。四代浜田泰孝氏。五代国枝弘治氏。六代今重昌弘氏。七代、八代今井澄真子氏。九代辻村明峻氏。以上歴代の分館長です。以上の方々と共に運営に協力されてこられた皆様によりまして、住民の心豊かな人々を育て、活力を生み出し、良き隣人と共に住める幸せが、保障できるように、公民館が社会教育の機関として、各種の活動を展開しそれぞれ成果をあげることが出来る様になりました事は、現在の分館役員、分館活動にたずさわる方々と共に喜び感謝申し上げます。とかく奉仕活動は、ややもすると実行力の旺盛な特定の方のみ負担が増加する事があります。そうした弊害を少しでも排除すると共に、次の世代を担う人達が育っていただけの経験の場を持っていただく様配慮していかなければならないと思います。

最近の社会情勢は、高齢化、核家族化の進行、青少年非行問題、情報過多の中で市民のニーズは高度化多様化し、行政に対しても都市施設の充実から、精神的文化的な潤いを求めるサービスと質的に変化し、住民の参加、協力による地域福祉活動を推進しようとする動きが活発化しています。そこで、地域住民として自らが相互扶助の精神と連帯意識の向上をはかり、主義主張を超えた権利、義務意識を持たなければならぬと思えます。即ちボランティア精神の構成とその仲間の育ちが重要な課題であると考えます。これからの公民分館が、社会教育の一環としての人づくり、地域づくりに果たす使命と地域に根ざした、生涯にわたる学習の場としての期待は益々大きくなると考えられます。今後複雑多様化する分館の仕事をさらに円滑にする為に、専門の人が必要になってくると思われ、文書の作成、配布や事務連絡などの事務局の業務が一元化されることが分館の運営をよりスムーズにするようになるのではないのでしょうか。

最後に我がふる里東町がいつまでも、幼年から青年、壮年、実年、老年の皆様が和気あいあいとして明るい町、すこやかな町であります様努力して行きたいと思えます。これからも分館行事に対し、御参加、御協力をお願い申し上げます。

東丘住民の皆様のご健康とご多幸を祈念しまして、私の新年の挨拶と致します。

輝かしい新春を迎え、東丘地区のみな様に新年のお慶びを申し上げます。
東丘住区開発以来二十年を経過し、公民分館を中心にして地域の方々がまとまって各行事に意欲的に取り組んでおられるようすを拝見致し、本住区の隆盛を心からお慶び申し上げます。

市街化が進む中であって、地域社会での疎外感なく、市民がお互いのコミュニケーションを深めていくためには、市民の自主的自発的な学習活動を積極的に援助し発展させ、交流の場を広げていくことが大切です。

現代社会は高齢化が進み、市民一人ひとりが生涯を通して、健康で活力のある生活を営もうと努力することが生きがいにつながり、老人ほけを防止し、あわせて地域の健全化、明朗化になり、活力ある町づくりが推進されるのではないのでしょうか。

東丘公民分館の四大大行事として、夏の盆踊り大会や秋の敬老の集い、体育祭、文化祭の計画進行に際しては、各自治会、ボーイスカウト、ガールスカウト、老人会等全ての団体が丸となって取り組まれ、円滑に運営されている姿を見ます時、各人が我が町東町をよくしようという心の表われだと感激しております。

学校と致しまして、より一層の地域との緊密な連携のもとに、教育環境の整備に意をほらい、生涯教育推進の観点に立って、側面から応援させて頂き、東丘住区の発展を願っております。

自治会と

公民館活動の接点に

あかしや住宅

足立 貢子

あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、何となく心晴れやかな気分でございます。皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

私は、昨年は、忙しい主人の代行として、自治会長をお引き受けし、公民分館行事のお手伝いを致しました。盆踊りから始まって、敬老の集い、体育祭、文化祭、ソフトボール大会と、次々に主な行事を終えて、ホッとしているところです。今では、東丘校区の皆様が心待ちにするまでになっている行事ですが、その準備をなさる方達のご苦労は、大変です。お手伝いをして初めて解りました。

私が住んでおりますあかしや住宅は、百十一世帯おられます。その中から、むかで競走に十六人と、ソフトボール大会に十一人のメンバーを揃えるのに、分館担当の方は、四苦八苦されました。ところが、当日になると、メンバーの皆様は、和気あいあい、行事を楽しんでくださったように思います。毎年、分館担当の方は、人数を揃えるのにご苦労なさいますが、参加してみると、思いにもなり、楽しいものがございます。新しい年を迎えて、今年も新たに分館行事が始まります。分館行事には、プレーする方も、見る方も、積極的にご参加下さいます様、住区の皆様にお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、住区の皆様のご多幸をお祈り致します。



グランドゴルフ

東丘

浅野 香代子

グランドゴルフはゴルフのミニチュア版です。クラブとボールが木製で、運動場に立てられたボールの下の輪の中に何打でホールインするかを競います。ちょっとした空地や庭で簡単にでき、広さに応じてボールの数を調整したり、障害物などを作ればもっと楽しくなります。あまり時間もかからず、誰にでも出来ますので、これから機会があれば取り上げてほしいスポーツだと思えます。

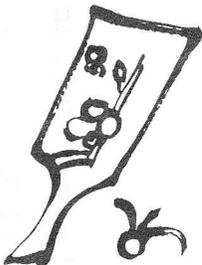
文化祭に思う

文化祭実行委員

作品参加を住区の方々へ、呼びかける事から始まった文化祭。一人でも多くの方に、出品していただくこと、文化祭担当の役員と話し合いました。

住区の方々のすばらしい作品の数々には目を見はる思いです。今年、お世話する側に立った私など、今まで、作品参加は言うに及ばず、見学にすら行った事もないような人間が、お願いにまわる等、口はばったいように申し訳なかったのですが、皆様の作品に接するうちに、これはもう、是非、全作品を展示して、多くの方に観賞していただきたいという、喜びと、期待に胸はずませていったのです。ある方が、去年の文化祭が終わった時、来年は、と準備していたのだが、時間がなくて、仕上がらなかつた」と話して下さった。こういう思いが、地区の文化祭を支える柱を太く、大きくしていくのではないだろうか。

当日は、各住区の見事な作品が並びました。おでんや、たこ焼きの良い匂いがたぐい、一休みして、おせんざい。私はゆっくりと、観賞させていただきました。今年も、皆様の作品に、お日にかかる事が出来たら、本当にすばらしい事と思えます。



雨に泣いた地区体育祭

体育祭実行委員長

大橋 桂 子

前日の雨もどこへやら、当日朝からは、雲のきれ間から太陽が顔を出してくれました。

低学年の五〇M競走でスタート。来賓による宝つりやアソカ幼稚園児の鼓笛隊も素敵でした。又、新種目としてとり入れた成人男女のラムネ早飲み競走や、どじょうつかみ競走も、ヤンヤの声援で賑わいました。地区対抗のむかでリレーは成年男女四人一組でスタート。チームワークよく走る組あれば、勢い余って倒れる組もあり、チアガール出現の自治会応援を受けて汗を流しました。午後の演技が始まる頃から、グラウンドは黒い雲におおわれ、とうとう雨に……。プロگرامを楽しみに集まってくれた、たくさんのお大人男女や子供達のうらめしそうな顔を横目に、中止せざる種目が続出。それでも悪



天候の中、突走ったマラソンは、多くの参加者がドロを背にうけて全員ゴールできたのは感激しました。今年も公民分館と各自治会の新メンバーのもと、素晴らしい体育祭が開かれますこと、期待しています。

千里東丘少年野球部誕生

前崎 雅 人

昭和四十一年、千里の地に東丘小学校が誕生しました。指折り数えること早いもので開校二十年を経過したことになります。人間にたとえれば、成人式を終えたところといえるのではないかと思います。

そこで、二十周年を期に『千里東丘少年野球部』結成の運びとなりました。振り返ってみると、昭和四十三年に自治会のご奉仕により東丘の子供達に対して少年野球指導が始まったのがつい先日の事の様に思い出されます。

その後、昭和四十七年には東丘タイガースジュニアクラブの前身である三好タイガースが、そして昭和四十八年には東丘ニューライオンズの前身である東町コンドルスがあいついで誕生しました。この二チームが生まれたことにより東丘の少年野球は活気づき、お互いに切磋琢磨することにより、チーム力向上がはかられてきました。この間五百人余りの東丘の子供達がお互いのユニホームにそでを通し、グラウンドで練習、試合に汗と涙を流し、熱く燃えた日々を送ってきました。

さて、ここ数年の学童減少に伴い、チーム統一化が叫ばれ、また所属少年野球連盟の指導もあり、東丘公民分館の御支援を得て、東丘タイガースジュニアクラブと東町ニューライオンズがここに合併されました。

昭和六十一年一月一日、東の空に陽が昇ろうとしている時、千里東丘の地に新生少年野球チームが芽ばえようとしています。野球を愛する子供達一人一人が力を合わせ、今まさにひとつのボールを追いかけていると見えます。新生チームのスタート、子供達の『心』を大切にし、選手、指導者、父兄、OB共に円陣を組み、ここにエールをかけ、思い出作りに一歩一歩着実にあ

ゆんで行きます。まだまだ未熟なチームです。千里東丘少年野球部に皆様の暖かい御指導御鞭撻のほど宜しくお願いします。



秋の講座に参加して

あかしや住宅

池 本 保 子

毎年、黒板に掲示されるたびに、講座に参加して見たいと思いつつ、過して参りましたが、今回、思い切って和紙と俳画の講座に出席させて頂きました。

和紙講座では、不器用な私にも、先生の至れり尽せりのご指導と、廻りの方々の手助けをいただいて、毎回ステキな作品が出来上がりました。そして、さっそくご指導の要点を思い浮かべながら自宅で作成、親類やお友達等に差し上げて喜んでいただきました。

俳画講座につきましても、一人一人に先生自筆のお手本を頂き、親切に教えていただき今年の年賀状には、是非習いたての「虎」をそえて見ようと、今から心躍らせております。

このたびの講座に参加して、今まで知らなかった世界の楽しみを知り、新しい友達も出来て、幾重もの収穫を得ることができました。これもひとえに役員の方々のお骨折りがあってのことと、深く感謝いたしております。

○人権を尊重しよう。

○教養を高め豊かな心をつくりましょう。

○力を合わせて清潔で美しい町をつくりましょう。

う。

東丘公民分館ソフトボール大会の結果

Aコート

60. 11. 10

	①	②	③	④	⑤	勝	敗	分	失点	得点	順位
	公団A	東 町	アカシヤ	深 一	東 丘						
① 公 団 A		16 - 9	14 - 0			2			9	30	①
② 東 町	9 - 16			19 - 9		1	1		25	28	③
③ アカシヤ	0 - 14				16 - 13	1	1		27	16	⑦
④ 深 一		9 - 19			13 - 7	1	1		26	22	⑥
⑤ 東 丘			13 - 16	7 - 13			2		29	20	⑧

Bコート

	⑥	⑦	⑧	⑨	勝	敗	分	失点	得点	順位
	公団B	公 社	桜ヶ丘	深 二						
⑥ 公 団 B		15 - 8	11 - 8		2			16	26	②
⑦ 公 社	8 - 15			6 - 0	1	1		15	14	⑤
⑧ 桜ヶ丘	8 - 11			4 - 11		2		22	12	⑨
⑨ 深 二		0 - 6	11 - 4		1	1		10	11	④

団地マラソン

S. 60. 10. 13 (日)

14:10~14:30 (20分間)

	1 位	2 位	3 位	
グループ1	出場者なし	—	—	高校生・29才以下男
グループ2	太田 洋平 (中2)	小林 幹 (中1)	松田 聡 (中2)	中学生男子・30才以上男
グループ3	中山 優子	能 香織	粟谷 明子	小4~6女子
グループ4	粟谷佳世子	道浦 希	浜本 麻里	中学生女子・成人女子
グループ5	永松 幹太	服部 裕介	笹岡 誠	小4~6男子

編集後記

新年号の広報づくりを始めた頃は山々の紅葉もまだこれからという時でしたが、皆様からの数多くの原稿をもとに、校正や、誌面の割りつけを終える頃には早くも師走も半ばになり、木枯しの吹く寒い季節になり、広報委員があついコーヒーをすすりながら無事脱稿しました。御協力いただいたみなさんに厚くお礼申し上げます。